

# 上島町消防だより

## 上島町全職員対象

### 普通救命講習実施

8月から10月にかけて上島町役場全職員を対象にした普通救命講習を実施しました。

「AED」(自動体外式除細動器)に関する知識や取扱い要領、AEDを使用した心肺蘇生法、また、止血法や体位変換の要領等、消防職員指導のもと行われ、受講した職員は、皆一様に真剣な表情で取り組んでました。



講習風景



平成19年度  
全国統一防火標語  
あなたは離れる  
その時を

全国秋季火災予防運動実施  
(11月9日～11月15日)



AEDの講習の様子



## 新人職員紹介

愛媛県消防学校での6ヶ月間の初任教育課程を修了し、10月より消防署に着任した職員を紹介します。



森實 宏行 (弓削)

年齢 23歳  
趣味 スポーツ全般

現在の心境・抱負

1年間の消防署勤務を経て、愛媛県消防学校での6ヶ月間の初任教育課程を修了し、消防士としてスタートを切ることができました。

初任教育を修了したとはいえ、まだまだ不安な面も多く、先輩方に少しでも追いつけるよう、日々研修を続けたいと思っています。

また、消防署の勤務についたばかりですが、救急に関する専門的な知識取得の為、引き続き12月まで消防学校への入校が決定しています。

2ヶ月後、新たな知識と技術を身に付け、町民の方のお役に立てるよう研修するつもりです。

今後ともよろしくお願いいたします。

## 平成19年度出動件数

	火災	救急
今年(9月)	0	31
昨年(9月)	0	32
昨年比	±0	-1
19年累計	2	342

平成19年9月30日現在

火災と救急は119番  
消防本部 77-4118(代)

6ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、晴れて初任教育課程を修了しました。消防署での勤務は、不安な面は多々ありますが、これから少しでも多くの現場に出動し、初心を忘れることなく研修に励み、先輩方に負けない様精一杯頑張りたいと思います。そして、上島町の皆さんのために日々精進し、誰からも信頼される消防職員になりたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

現在の心境・抱負

年齢 18歳  
趣味 運動・音楽鑑賞



池上 幸大 (弓削)



# 農業講座

## しまなみ農業だより いちごの栽培について

いちごは冬から初夏にかけて季節商材として店頭で売られています。ハウス栽培により長期収穫されたものです。暖地の露地栽培では5月頃に収穫できます。いちごは宿根草でランナーと呼ばれる地面を這う茎でつながった苗で増えます。この苗を利用して栽培するため、いちごは年間を通して手入れが必要です。今回は苗の確保から栽培まで少し手間の掛かる作物、いちごの露地栽培について解説します。

### 1. いちごの特性

いちごは宿根草で低い温度（冬）で休眠をして成長を止め、気温が高くなると生育が旺盛となります。環境（温度、日長、肥料の効きなど）により花や葉、芽（ランナー）になります。根が弱く肥料をたくさんやると根傷みを起しやすくなります。

### 2. 品種と苗取り

露地栽培では、休眠の深い品種でも良く「宝交早生」が向いています。「さちのか」などハウス用品種を栽培すると寒い時期に花が出たり花房が短いなど栽培が難しくなります。

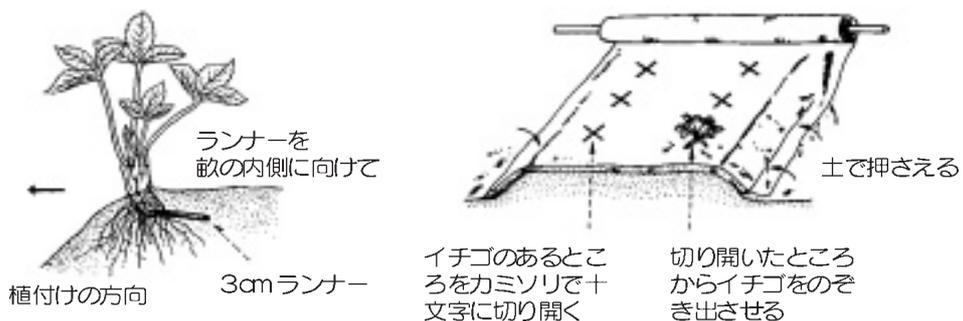
苗は、栽培した株から出る苗も利用できますが、苗取り場所を設け秋か春に親株を植付けランナーを配置して育苗する方法があります。6月頃からランナーを切り離して植え替えをする育苗方法もありますが、秋まで植え替えずに放置する方法で苗を採る無仮植育苗が簡単です。放置するといっても草取りや防除、古い葉や枯れ葉を定期的に除き常に葉が3～4枚にすると良い苗となります。苗の必要本数は10㎡あたり予備を入れて100本あれば十分です。



イチゴランナーと採苗法

### 3. 植え付けと管理

植え付けは10月下旬から11月中旬頃に行い、植え付けの1ヶ月前に10㎡当たり堆肥20kg、苦土石灰1kg、有機配合肥料（かんきつ肥料が良い）2kgを良く混ぜて、幅1.2m高さ20cmの高うねを作っておきます。1うねに株間25cmの2条千鳥に浅く植えますが、苗を切り離す時に親株側のランナーを3cm残して切り取り、ランナーが内側になるように植えると外向きに花房が出てきます（図）。活着するまでは灌水を行い、2月上旬頃に10㎡当たり畝上に有機配合肥料を1.5kg撒き、除草を兼ねて軽く耕します。3月上旬頃に果実の汚れ防止や地温、湿度を保つため黒ポリによるマルチを行います。降雨後に株の上から黒ポリマルチを載せ、いちごの株上をカミソリの刃などで切り開き株を出し、マルチのすそに土をかけます（図）。



### 4. 病害虫防除、収穫

病害虫はハダニや果実が白くなるうどんこ病、ナメクジによる実の食害が見られる場合があります。防除は営農指導機関に相談ください。収穫は実の全体が良く熟れたものから摘み取ってください。